

食料資源管理学（大学院）

使用テキスト及び参考文献のリスト

以下に掲げている文献の一部をテキストとして利用しますが、コモンズ論を勉強する際の参考文献として利用してください。テキストとして利用する予定の文献については黄色のマーカー表示をつけています。なお、受講者の人数、受講者の所属する専攻等を考慮して、使用テキストを変更することがあります。また、留学生が受講生として含まれている時には、英語文献を使用することがあります。

テキスト名	所収文献名	報告者	予定日
1 日本のコモンズ論 —その発展と限界—			
資源の共同管理制度としてのコモンズ	井上真・宮内泰介 「コモンズの社会学」 新曜社		
資源とコモンズ、コモンズ論の展開	秋道智彌「コモンズの地球史」		
序論 コモンズの人類学	秋道知彌 「コモンズの人類学」		
自然は誰のものか	秋道知彌 「自然は誰のものか」(昭和堂)		
自然は誰のものか	秋道智彌「コモンズの地球史」		
なぜ今「コモンズ」なのか	多辺田政弘		
資源管理とコモンズ	室田武・三俣学 「入会林野とコモンズ」		
コモンズ論の地平と展開	秋道知彌 内堀基光「資源と人間」		
序・紛争の海	秋道知彌 岸上・秋道「紛争の海」		
自然環境保全のための「協治」	井上真 「環境と開発」		
「協治」の思想で森とかがかわる	井上真 「森はだれのものか？アジアの森と人の未来」		
コモンズ概念とその有効性	井上真 「コモンズの思想を求めて」		
コモンズ論と所有論	鈴木・富野「コモンズ論再考」		
The Commons in the New Millennium	Nieves Dolsak & Elinor Ostrom		
The Drama of the Commons pp.3-35	National Research Council The Drama of the Commons 2002, U.S.A.		
貧困と「資源の呪い」	佐藤仁 「環境と開発」		
Common Resource and Institutional Sustainability pp.41-85	Agrawal National Research Council The Drama of the Commons 2002, U.S.A.		
2 開発とコモンズ（衰退と生成）			
持続的開発を支える総有	熊本一規 「コモンズの海」(学陽社)		
コモンズのメンタリティー —京都におけるマツタケ入札制度の成立と変容—	斎藤暖生・三俣学 秋道知彌「資源とコモンズ」		
生成するコモンズ	家中茂 「開発と環境の文化学」		

石垣島白保のイノー	家中茂 「コモンズの社会学」(新曜社)
序 レジティマシーの社会学へ	宮内泰介 「コモンズをささえるしくみ」
地域開発にともなう「物語」の生成と「不安」のコミュニケーション	関礼子 「開発と環境の文化学」
社会関係のなかの資源—慶良間海域サンゴ礁をめぐって—	家中茂 松井健「自然の資源化」
自然環境保全からみた漁村の多面的機能	関礼子 (未定稿)
共同性を喚起するカー自然保全の正当性と公共性の創出—	関礼子 「コモンズをささえるしくみ」
サンゴ礁海域における海洋保護区(MPA)の多面的機能	鹿熊信一郎 山尾・島編著「日本の漁村・水産業の多面的機能」
海の自給畑・石干見	多部田政弘 「コモンズの海」(学陽社)
3 伝統的資源管理の再評価	
カナダ極北地域における知識をめぐる抗争 pp.149-176	大村敬一 秋道・岸上「紛争の海」 人文書院, 2003年
カナダ極北地域における海洋資源をめぐる紛争	岸上伸啓 同上
Tow to tango: the role of government in fisheries co-management	Robert S. Pomeroy and Fikret Berkes
Context of Traditional Ecological Knowledge pp.3-15	Firret Berkes SACRED ECOLOGY Taylor & Francis, 1999
Intellectual Roots of Traditional Ecological Knowledge pp.37-55	同上
資源と環境を守るサシ pp.15-66	村井吉敬「サシとアジアと海世界」 コモンズ, 1998
村落基盤の資源管理	秋道知彌 地域の自立 シマの力(下)
コモンズとしてのサシ pp.165-189	笹岡正俊 井上真・宮内泰介 「コモンズの社会学」 新曜社
「里海」って何だろう?	中島満 水産振興 487号
